

<意識調査で見えた課題>

(1) 学生は就職したい企業や仕事が少ないと感じている

- 県内の希望割合が学年の進行とともに減少
1年生 63%
3年生 56% (就活開始時)

(2) 学生は就職先の職場環境を重視している

- 労働環境が良い、福利厚生が整っている、休日休暇が多い、という点を重視
- 学生の多くが県内企業に対して、小規模・零細、労働条件が悪い、時代に合った仕事が少ない、と感じている

(3) 工業分野や医療福祉分野における県内就職希望者が少ない

- 理系や保健系では県内の就職割合が低く、学年の進行とともに、さらに低下

<取組の方向性>

県内の素晴らしい企業や仕事への理解を深める

学生ニーズを踏まえて、職場環境の向上を図る

若者を惹きつける魅力的な雇用の創出を図る

大学と業界団体が一体となって分野別に取り組む